

いなばエリア 「ふれあいの橋の会」 議事録

- 【日 時】 令和7年8月19日（火）13時30分～14時30分
【場 所】 デイライフいきいき 鳥取北地域包括支援センター
【出席者】 澤田博隆委員 入江敏夫委員 橋本京子委員
 藪本剛総合施設長 奥田正彦施設長 平尾由希係長
 萩原元気主任

鳥取市北デイサービスセンター



- デイライフいきいき
定員 40名
- デイライフほのぼの
定員 12名
- 訪問介護事業所鳥取北
(障害者事業有り)
- 鳥取北地域包括支援センター
(鳥取市委託事業)



1 開会挨拶（藪本総合施設長）

本日は暑さの収まらない中ご足労いただき、ありがとうございます。先月無事に30周年記念事業を執り行うことができました。委員の皆さまにもご来賓としてご参加いただき、ありがとうございました。今回は、2月に見ていただいた2階デイライフいきいきと、鳥取市から受託している鳥取北地域包括支援センターを初めて見ていただきます。今回も忌憚ないご意見をお願いいたします。

萩原主任：5月からいきいきの担当となりました。以前は浜坂のデイライフゆうゆうの担当をしておりました。本日はよろしくお祈いします。

2 前回指摘事項に対する改善

平尾係長：はじめに、前回（令和7年2月）ご指摘いただいた3点について検討結果を報告します。2階デイサービスの強制換気について。休憩室の環境整備について。厨房扉の案内掲示について。

奥田施設長：休憩室の環境整備について：コロナ対策時に国から届いた期限切れの感染防止用品を段ボール20箱処分し、休憩スペースを拡大しました。但し、デイサービスほのぼのの音が聞こえない離れた休憩室を設ける点は、建物の広さもあり、物質的に難しい状況です。

萩原主任：2階の常時換気について：1時間毎にアラームを鳴らし、朝と昼に給湯室の窓を全開にする時間を設け、空気がデイルームに流れるようにしました。季節的に暑いことから、デイルームは常時換気のままとしています。

澤田委員：コロナがまた流行しています。気をつけるに越したことはないです。デイルームも強制換気をお勧めします。

藪本総合施設長：厨房扉の案内掲示について、改善できていませんでした。至急行います。

3 環境点検（巡回）

入江委員：包括とは、何人でどんな仕事をしている事業ですか。鳥取北包括の範囲はどこまでですか。

平尾係長：10名の職員を配置しています。看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの三職種と、ケアマネジャーで構成しています。業務内容としては、総合相談、ケアマネ支援などの包括的・継続的ケアマネジメント、要支援の方の対応をする介護予防ケアマネジメント、権利擁護があります。範囲は北中学校区と中ノ郷中学校区になります。鳥取市内には11カ所の包括支援センターがあり、こうほうえんを含めて、いろいろな法人が受託しています。

澤田委員：玄関に掲示されている福祉相談窓口も包括支援センターの業務ですか。

藪本総合施設長：鳥取市から受託している事業ですが、厳密には違う事業です。

入江委員：なかなか難しいですね。素人には理解できません。

橋本委員：ここに来れば相談できるということを知らない人が多いのではないのでしょうか。

奥田施設長：「この建物に包括支援センターが入っていることが分かりにくい」という意見があり屋外に看板を作りましたが、充分には知られてはいません。

藪本総合施設長：鳥取市も、待つだけでなく、各地区に常設型の相談拠点を作ることを目指しています。こうほうえんとしても、浜坂地区に地域食堂を立上げることを検討中です。まず、こちらから外に出て行って知っていただくこと、併せて、困りごとなど地域の声を集める取り組みが求められています。

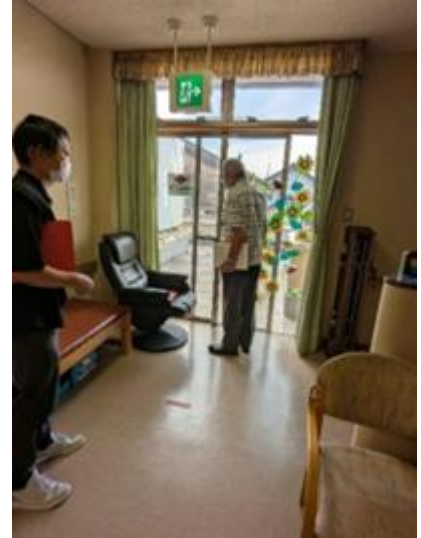
橋本委員：城北地区では毎週、ふらっとサロンをやっていて30名弱来られています。そういう場所がある地区はいいですが、無い地区にも、常設でなくても集う場所があるといいですね。以前、城北地区に生活困窮の方が多く住む住宅がありました。そこを出なければならなくなった時、行くところがなく民生委員も困られていました。今後は同様のケースが多くなるんじゃないのでしょうか。以前豊中市に視察に行った際、市や社協や民生委員がローラー作戦で1軒ずつ回ってチェックしたと聞きました。鳥取市は豊中市と比べると小さい。行政と連携して、もっと出来ることもあるのではないのでしょうか。

平尾係長：北中校区、中ノ郷中校区は広いですが、今年度は所長を中心に浜坂の県営住宅を1軒ずつ訪問し、問題を抱えている方が居ないか確認しています。

澤田委員：以前、こうほうえんと防災協定を結んだ際、町内で避難を求める人が何人居るか各戸確認しましたが、個人情報のことを言われて協力を得るのにとても苦労しました。

平尾係長：来月からこの場所を使い、カフェを開催します。ここに来れば相談できる事を、まず地域の皆さまに知っていただくことから始めます。最初は秋里地区を中心にチラシを配布します。町内会の方は公民館にご協力いただき班回覧で、それ以外の方はポスティングをします。

橋本委員：よい取り組みです。ふらっとサロンでも紹介させていただきます。



橋の会終了直後に案内板貼り付け

4 環境点検（巡回後）

入江委員：どのテーブルも楽しそうに和気あいあいとされている。「いつまでも帰りたくない、天国だ」といわれていました。居心地の良さが伝わりました。感染対策の強制換気については工夫の余地があります。お金が掛かる話ではありますが、スイッチ式の開閉窓にするなど、何か良い手がないか業者に相談してもよいかもしれません。

橋本委員：「知り合いも居て本当に楽しい、帰りたくない、ご飯もおいしい」と言われていました。皆さん生きいきとされています。職員さんが飽きさせない工夫をされ

ているのが伝わりました。

川が近いですが、災害発生時の避難などについてはどうお考えですか。

奥田施設長：この建物は標高 3m で水災害想定は 0.5mほどになります。水災害は予報である程度予測できますので、早めに自宅に送るなどの対応を想定しています。鳥取北は福祉避難所の指定も受けていますので、万が一の場合、地域の方々も 2 階に避難いただくこととなりますが、おそらく皆さん、より安全な県立中央病院に避難されると想定されます。むしろ。鳥取北は在宅事業の集合体ですので、ご利用者が在宅で安全な状況にあるか、確認する方が重要になります。

澤田委員：利用者も職員も表情が良い。一体感があり好感が持てる事業所です。

トイレの流しについて、「口腔ケアの後に排水の蓋を取り掃除をしてくださる方がいるが、蓋が取れないから掃除しにくい」と言われていました。口の中の残った物を流すのは詰まり易く、故障の原因にもなります。

前回引き続きですが、職員の休憩スペースについて。私が社長の頃は、仕事から離れることができる環境を作るよう指導されてきました。ヘルパーの畳休憩室を共有できないでしょうか。ここにもコロナ対策の物品が積まれていましたが、片付けをしてはいかがでしょうか。

ベランダも少し汚れていました。暑い中、なかなか手が回らないでしょうが、定期的に掃除された方がよいと思います。

あと細かい点ですが、この部屋から出る際、扉の開閉が固く異音もします。修理されてはいかがでしょうか。

萩原主任：内容に関して、一つずつ確認して改善していきます。ベランダの清掃についても普段しっかりとできていないので対応していきます。

奥田施設長：扉の件は何度も修理していますが、すぐに壊れます。対策を考えます。休憩スペースの件は引き続き検討します。

藪本総合施設長：前回指摘事項について、改善できていなかった点は至急対応します。今日いただいたご意見についても検討させていただきます。本日も貴重なご意見、ありがとうございました。

【まとめ】

指摘事項	評価事項
2 階テイルーム強制換気検討（前回継続）	職員と利用者との一体感が良い
包括支援センターの業務が分かりづらい。ここに来れば相談できることを知っていたこと	どの活動も楽しそうで、利用者も生きいきとされている。居心地が良い。職員の工夫が見られる
2F 洗面所の排水改善（詰まり防止）	
ほのぼのの入口ドアの修繕	
ベランダの定期的な清掃	
職員休憩場所の確保（前回継続）	

【次回】 令和 7 年 9 月 16 日（火） 13 時 30 分～

にしまち診療所 悠々・ことばとこころの支援室